

5. 総合スポーツ公園多目的グラウンドの芝生化と熱中症対策について

- ①多目的グラウンド人工芝設置に関して現在の見解ならびに検討の進捗状況について
- ②多目的グラウンドに移動式の日除けを用意するなどの熱中症対策を

【答弁】

ご質問の、5. 総合スポーツ公園多目的グラウンドの芝生化と熱中症対策についての①、②につきまして、順次、お答えさせていただきます。

総合スポーツ公園は平成6年の開園以来、プロ野球の公式戦にも使われる野球場だけでなく、多目的競技場におきましても、多くの市民の皆さんにご利用いただいているところでございます。

平成30年度の多目的競技場の利用者数は25,723人で、多目的という名前のとおりサッカー、グランドゴルフ、ソフトボール、野球、ラクロス、運動会など日々、幅広い種目のスポーツが行われています。

ご質問の人工芝の設置につきましては、昨年9月議会でお答えさせていただいたように、国、府の補助金やスポーツ振興助成金などの活用方を模索しながら研究を続けているところではございますが、開園後25年を経過して、施設全体の雨漏りの全面的改修や夜間照明設備やスコアボードの維持改修など様々な課題が浮き彫りになってきているところでございます。

今後も引き続き、利用者の皆さんの声や利便性などを総合的に判断し、これらの改修課題の優先順位を検討したうえで計画的に進めていく必要があると考えておりますが、人工芝の設置につきましては、引き続き調査研究してまいります。

続きまして、②につきまして、ここ数年の夏の異常な暑さは、スポーツ施設におきましては、つねに熱中症のリスクを抱えていることは重く認識しているところでございます。

本市のスポーツ公園におきましては、園内に暑さ指数（WBGT）を測定する機器を設置し、その危険度を利用者にお知らせすることで、一定の対策を講じてはおりますが、議員ご指摘のように競技の合い間等に一時的に日陰に入り体を休めることができる日除けベンチがあれば、利用者の皆さんにも喜んでいただけるものと思われまます。

また、それが移動式であれば、競技場内において柔軟かつ臨機応変に使用することができ、熱中症対策として有効な設備であると考えます。

つきましては、他市における移動式日除けベンチ等の設置状況を調査し、実現に向けて検討してまいります。

以上で、お答えとさせていただきます。